

## 東大柏英語落語鑑賞会(2022.11.18)

東大柏部会 垣沼裕司(三井物産OB)

柏の葉キャンパスに集う留学生及び同キャンパスのスタッフに、日本の誇る古典芸能の一つである落語を通じて日本に親しみを持ってもらおう、と当部会重鎮の宮田さん(芸名良寛さん)属する東京英語落語かい枝会メンバーによる落語鑑賞会がコロナに負けず開催の運びとなりました。

- 場所は文化交流にふさわしい柏キャンパス図書館メディアホール
- 主催は、三井V-Net(主催)、東大柏(共催)
- 時は、新型コロナ第八波襲来直前の令和4年11月18日(金)

新型コロナの中断もあり、2年間のブランクを経て今回が通算5回目。

例年と異なり、新型コロナ対策のため入場者数を定員の半分に絞るため、近隣の住民への呼びかけを控え、事前登録制としたため、主催者側はもちろんのこと、演じる「東京英語落語かい枝会」の皆さまも、入りが不安でしたが、52名程度の参加(事前申し込み数68名、外国籍参加者31名)を得、また、観衆も会場内に程よくばらけ、かつ、笑いもしっかり取れてホッと一息、というところ。



当会の特徴は、初めて落語に出会う留学生も想定し、懇切に落語の基礎的な説明が英語でなされ、加えてユーモアを交えてエチケット説明があることでしょう。英語が分からない場合でも最悪拍手(^▽^)/、の下りで早速笑いをとり、心のハードルを下げてくれました。

演者も多国籍、日本人、米国人、クロアチア人などの方々が、得意の演目(おなじみの、<sup>じゅげむ</sup>寿限無、<sup>てんしき</sup>親の顔、転失気等)等を熱演、大いに笑いをとり、ひと時を楽しく過ごせました。

まずは「落語とは」で基礎知識の解説



クロアチア人のゴランさんも「寿限無」を熱演



トリは大助さんの「いらち俚」

例年ですと、中入り後は落語ワークショップとして落語特有の動作を来演者が会場からの飛び入り出演者を入れつつ実演、なのですが、今年は新型コロナをおもんばかり割愛、来年以降の復活を期待したいものです。